

## (3) 漁業の生産性向上対策

## ① 増養殖

## プロジェクト ホタテガイ100億円産業の恒久化

## 目 標

- ・ 陸奥湾でのホタテガイ生産額 R4：155億円 → R10：100億円台の維持
- ・ 陸奥湾でのホタテガイ生産量 R4：77,991t → R10：90,000t
- ・ 親貝保有枚数 R4：1億枚 → R10：1億4,000万枚

## 挑戦する内容

- ・ 陸奥湾ホタテガイ総合戦略の策定
- ・ 環境変化に対応した新たな養殖技術の開発
- ・ 持続可能な安定生産に向けた親貝づくり体制強化

関係者の声  
=対話

- ・ 親がいなければ産卵しないので、親貝確保が第一の問題（漁業者）
- ・ 安定採苗のための親貝の下限保有数量の設定が必要（漁業団体）
- ・ 安定採苗が喫緊の課題（産技センター）

## 役割分担

- ・ 漁業者：適正な養殖管理と親貝の保有
- ・ 漁業団体：漁業者への指導
- ・ 産技センター：採苗及び養殖管理に係る調査、試験
- ・ 県：総合戦略チーム運営、施策立案

## 変革後の姿

- ・ 養殖技術の向上によりへい死が減少して生産量が安定
- ・ 親貝づくりにより親貝からラーバへ、さらにラーバから親貝に至る再生産サイクルの安定による持続可能なホタテガイ養殖産業の確立
- ・ 陸奥湾ホタテガイ総合戦略に基づき、生産から販売まで、計画的に取り組むことにより、ホタテガイ100億円産業として恒久化

## 令和6年度計画

## 挑戦する内容

- 1 陸奥湾ホタテガイ総合戦略の策定
  - ・ 陸奥湾ホタテガイ総合戦略チーム及び各ワーキンググループ（生産技術開発、経営改善推進、輸出・販売促進）において各課題を検討し、総合戦略を策定
- 2 環境変化に対応した新たな養殖技術の開発
  - ・ 採苗不振メカニズムの解明と効率的な採苗技術開発のための採苗器の設置位置別付着状況調査を実施
  - ・ 高水温等の環境変動に対応した稚貝及び成貝の成育試験を実施
- 3 持続可能な安定生産に向けた親貝づくり体制強化
  - ・ TASC制度や養殖工程の見直し、協業化等に関する検討会を開催し、親貝づくり体制を強化



養殖ホタテガイの調査



ホタテガイ稚貝の選別

## 対話

- ・ 部会を開催し、事業の進捗状況を把握するとともに、意見を参考に事業構築（8月、1月）
- ・ チーム会議、各ワーキンググループを開催し、生産者や関係団体等との意見交換により、総合戦略に反映（チーム会議年2回、ワーキンググループ（WG）年2回×3WG）
- ・ 親貝づくり意見交換会を開催し、各地区の代表者との意見交換するとともに親貝づくり対策を普及（11月）
- ・ 漁協及び支所（16か所）で、養殖に関する検討会を開催し、関係者と意見交換を行うとともに適正な養殖工程について普及（11月）